

# 令和7年度実証事業(実証事業A)の検討

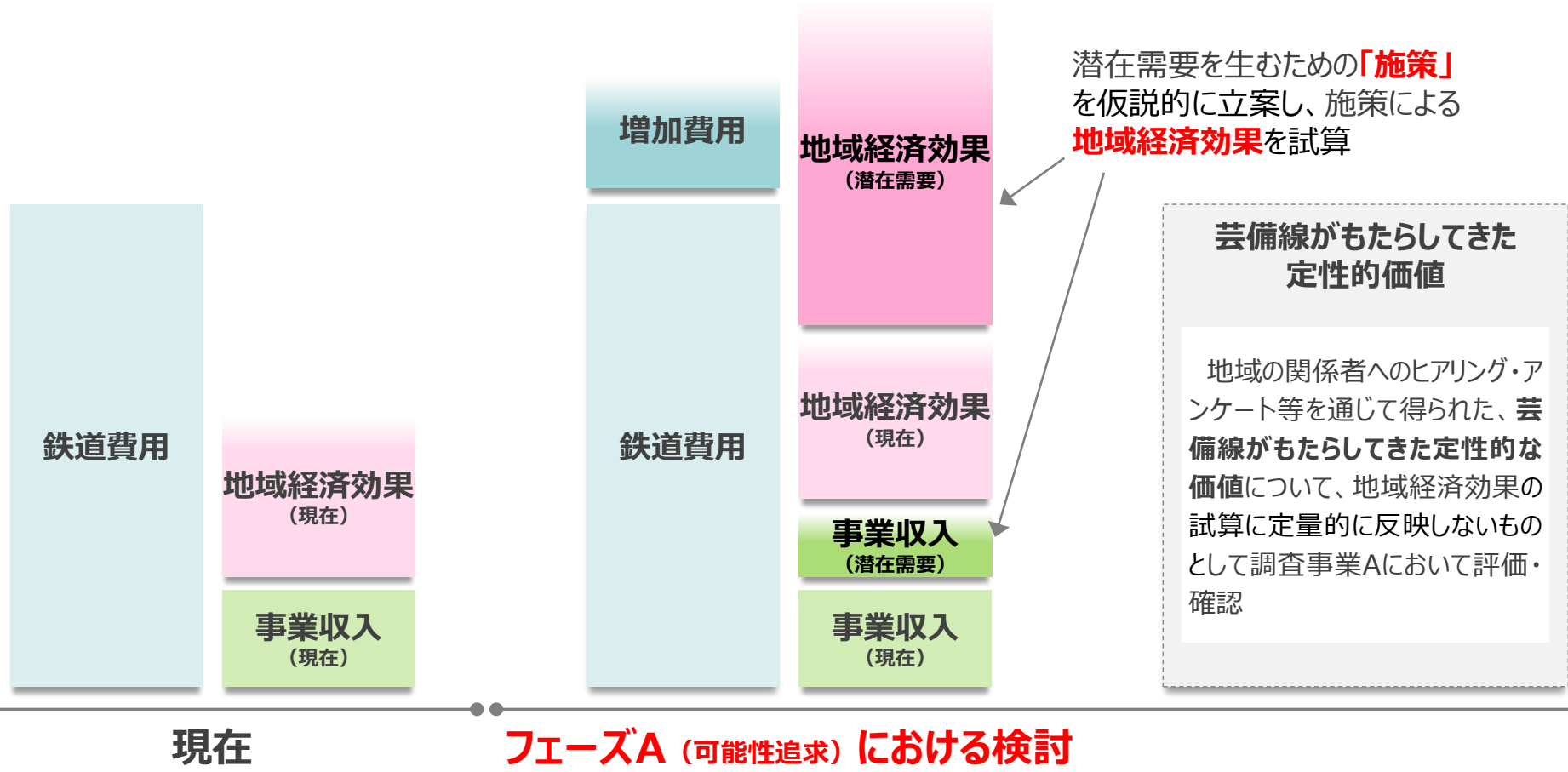
---

令和7年1月29日

国土交通省 中国運輸局

# 調査事業Aにおける地域経済効果の試算等(再掲)

- **調査事業A**において、芸備線の多様な価値の創出や鉄道の潜在需要増加につながる「**施策**」を仮説的に立案し、「**施策**」による地域経済効果を試算
- **実証事業A**において、**仮説を実証**するため、「**施策**」を試行的に実施し、効果を測定



※ただし、費用を収入・経済効果が上回る/下回るいずれの場合にあっても、フェーズAの検討のみをもって最適な交通モードの判断は行わない

## ○ 地域経済効果の試算を検証するために取り組む施策等（事務局試案）

- ・これまでの協議会・幹事会における議論や、事務レベルで積み重ねてきた構成員間の議論を踏まえると、現状において、地域経済効果の試算を検証するために取り組む施策等の事務局試案としては、以下のとおり（今後の調査・検討で新たに施策が立案される場合には、順次追加）

### ● 二次交通との連携強化

- －芸備線の駅と二次交通の連携強化により、移動需要を喚起

### ● 観光・ビジネス需要への対応

- －観光やビジネス出張・産業視察等への対応により、移動需要を喚起

### ● 地域拠点としての駅舎・公共施設・商業施設の有効活用

- －駅等の拠点化により、駅周辺の回遊性・滞留性を向上

### ● 居住生活ニーズに対応した地域活性化・移住定住・まちづくり施策の推進

- －自治体そのものが取り組む施策の推進により、移動需要を喚起

### ●（今後の調査・検討の中で新たに立案された施策を追加予定）

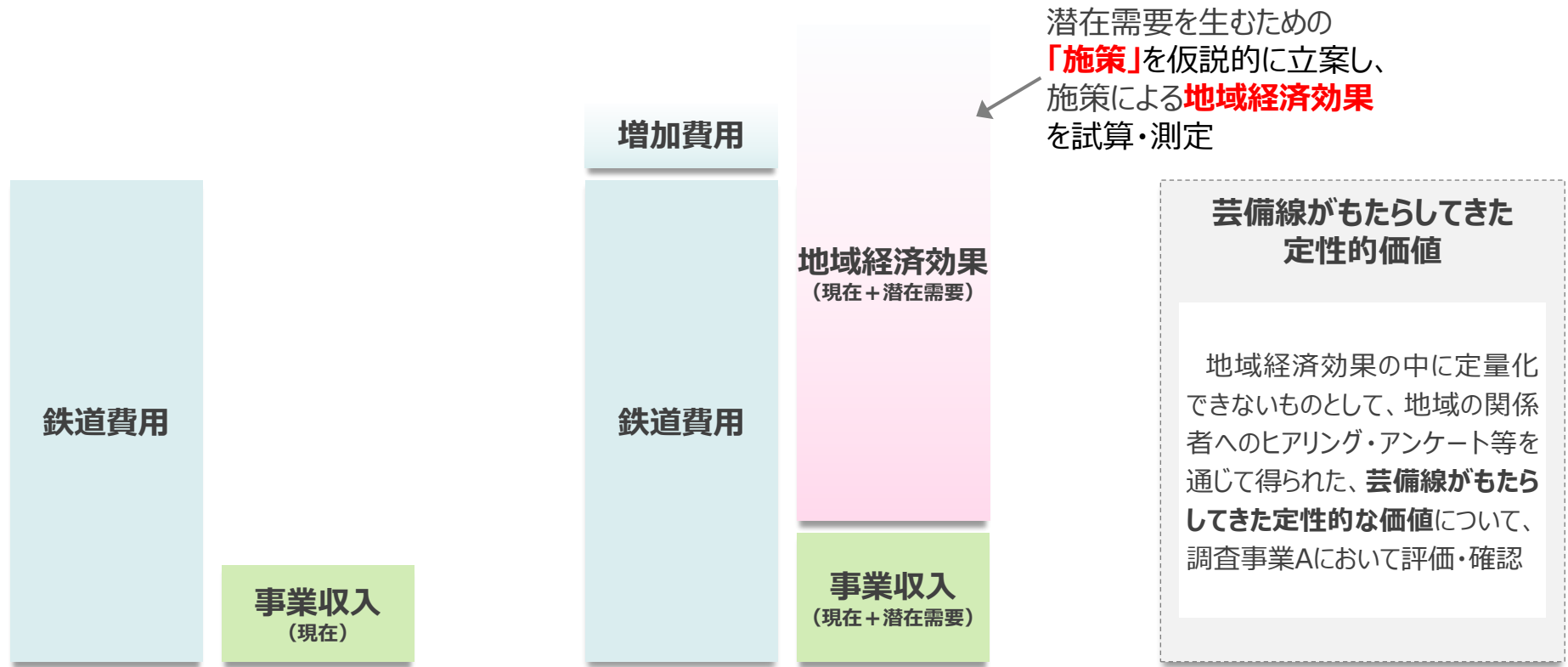
### ※芸備線がもたらしてきた定性的な価値の評価・確認

- －地域の関係者へのヒアリング・アンケート等を通じて得られた、定性的な価値について、調査事業Aにおいて文書でとりまとめた上で構成員間で確認

- ・今後、データ36項目の個別分析や、ヒアリング・アンケート等によるアイデアの抽出を踏まえて施策を精査し、今後新たに立案された施策も追加した上で、次回協議会でとりまとめ
- ・地域経済効果の試算を検証するための施策のうち、試行的に実施して仮説実証する必要があるものについて来年度に実証事業Aとして実施

# (参考)地域経済効果イメージ(調査事業Aで試算・実証事業Aで測定)(第3回幹事会)

- **調査事業A**において芸備線の多様な価値の創出や鉄道の潜在需要増加につながる「**施策**」を仮説的に立案  
収集データに基づいて妥当な結果が見込まれる「**施策**」による**地域経済効果**を試算
- **実証事業A**において「**施策**」を試行的に実施して**仮説を実証**



現在

**フェーズAにおける検討**

(芸備線の可能性追求)

- ※調査事業Aで仮説立案
- ※実証事業Aで仮説実証

## 4. 芸備線再構築協議会幹事会における当面の検討イメージ

芸備線の利用者を増加させる取組や、利用者の利便性や地域への波及効果を高める取組による相乗効果に加え、利用者数とは別個の芸備線自体の価値を見出すことにより、芸備線の可能性を追求していく

(具体的な検討の内容) ※基本的考え方：芸備線の可能性を最大限追求

$$\textcircled{1} \text{利用者数の増加} \times \left[ \begin{array}{l} \textcircled{2} \text{a 利用者本人の便益の増加} \\ + \\ \textcircled{2} \text{b まちづくり・観光振興の観点} \\ \text{も踏まえた地域への波及効果} \end{array} \right] + \alpha \textcircled{3} \text{その他}$$

= 芸備線による地域への多様な価値の創出

(各要素の検討イメージの例)

### ① 利用者数の増加

：移動需要の創出（利便性向上、新見・庄原地域を面で捉えた他の公共交通との連携、沿線住民の行動変容、利用者減少の要因分析等）

### ② a 利用者本人の便益の増加

：利便性・快適性が向上するサービスの提供等による利用者本人の便益の増加

### ② b まちづくり・観光振興の観点も踏まえた地域への波及効果の増加

：域内観光消費・住民の買物消費の増加、地域への波及効果の創出

### ③ α その他

：利用者数とは別個の価値について検討 ※データとファクトに基づき議論できるものを基本とする

### ③現状把握とその結果を踏まえた総合的な分析に関する提案

#### ア 芸備線や沿線地域の現状・公共交通の現状の把握

「幹事会における当面の検討イメージ」に沿って、現状データの整理・分析により、(芸備線が沿線地域において現状果たしている価値の把握も含め、) 芸備線と沿線地域等の現状を把握

#### イ 将来人口予測など新見市・庄原市の将来の地域の姿

人口推計やその他データの分析により新見市・庄原市の将来の地域の姿を把握

#### ウ 当面の検討イメージに沿って行う、**芸備線による多様な価値の創出**や**ポテンシャルの有無**に関する分析 (潜在需要などの伸びしろの有無の把握も含む)

「幹事会における当面の検討イメージ」における各要素 (①、② a、② b、③) に沿って、例えば、以下の検討内容を分析し、芸備線による多様な価値の創出・ポテンシャルの有無を分析

#### <検討内容のイメージの例>

◎は、重点項目 (提案必須)

- ・ 居住生活ニーズによる利用者数への影響分析…当面の検討イメージ①②b
- ・ 産業観光、ビジネス需要、MICE需要等による利用者数への影響分析…①②b
- ◎ 潜在需要の顕在化やトリップ数の増加に向けた分析…①②b
- ◎ 二次交通との連携強化等による需要増の分析…②a
- ・ 収入増加可能性の分析 (客単価や沿線地域での域内消費額アップ等) …②a②b
- ◎ 駅など交通拠点の有効活用による需要創出効果分析…①②a②b③
- ◎ 芸備線が鉄道として存在することの価値に関する分析…③
- ・ 関係者等の意見を踏まえた定性的な価値に関する分析…③